

翻訳とジェンダー／通訳・翻訳史

これまでの主な研究

①翻訳とジェンダーについての研究

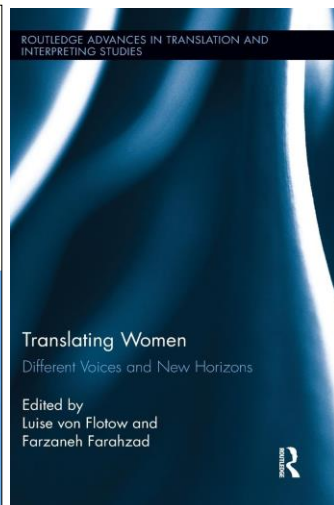
大きく3つのテーマについて研究を行っています。

1. 小説の女性たちはどう翻訳されてきたか
2. フェミニストの立場から、社会に抗うための翻訳とはなにか
3. すべての人が自分自身を生きるために、翻訳にできることはなにか

【主な出版物】



翻訳をジェンダーする
(筑摩書房 2024)

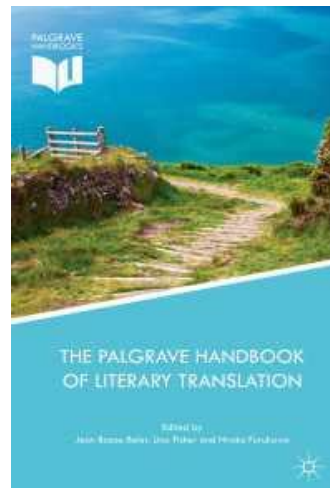


Translating Women
(Routledge 2017 共著)

②世界の文学翻訳研究の紹介

様々な地域と言語に関わる文学翻訳について、25の事例研究を書籍にまとめました。

地域：アジア、アフリカ、欧米、中南米など
言語：イタリア語、英語、オランダ語、カタルーニャ語、中国語、ドイツ語、トルコ語、ナイジェリア英語、日本語、フランス語、ヘブライ語、ロシア語など

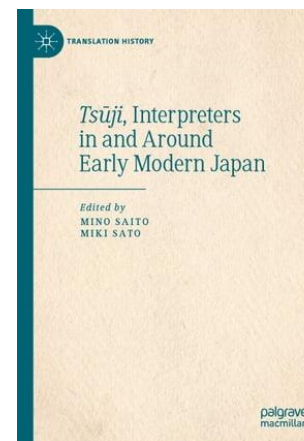


The Palgrave Handbook of
Literary Translation
(Palgrave Macmillan 2018 共編著)

*Tsūji, Interpreters in and
Around Early Modern Japan*
(Palgrave Macmillan 2023 共著)

③江戸時代の通訳の研究

日本初の通訳養成校を対馬に作った雨森芳洲と、朝鮮通詞（日本語-朝鮮語の通訳）についての研究を行いました。雨森は多文化共生を唱えた人でもありました。



研究者プロフィール

国際学部
国際教養学科
教授 古川弘子



専門：文学翻訳（翻訳学）

早稲田大学政治経済学部卒業後、出版社で雑誌と書籍の編集に携わったのち、2011年にイギリスのイースト・アングリア大学で博士課程を修了(Ph.D. in Literary Translation)。同大学でのポストドクターを経て、2012年より東北学院大学に勤務している。

関連キーワード:

文学翻訳、通訳・翻訳史
ジェンダー、フェミニズム

研究者への連絡先

産学連携推進センター

Email: srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

電話: 022-354-8122